

# 令和4年度消費生活推進員 第1回活動報告書(4月～7月分)から

- 6月の婦人会定例会において、啓発用品のクリアファイルを配布し、消費者トラブルの手口と消費者相談窓口188について話しました。今年度の各町会婦人部長さんのほとんどが交代されたばかりの方で188についてもご存知の方がほとんどおらず、ファイルと共により啓発になったと思います。また、7月13日付北國新聞朝刊一面に「石川県内特殊詐欺被害5.9倍」という見出しがあり、7月定例会では、還付金詐欺被害が多いことの説明をし、注意をよびかけました。
- 4月：「18歳から大人」気を付けてほしい消費者トラブル資料を町内・自班で回覧。  
5月：特殊詐欺が頻発しており、市の広報誌、町内回覧板で注意喚起され、緊急告知放送が実施された。  
6月：老人会ふれあいサロンが、4か月ぶりに開催された。「悪質商法にだまされるものか」のパンフレットの読み合わせを実施した。参加者から、「そうや緊急告知された」「私は大丈夫と思わないで注意せんなん」「188、いやややね」等と反応があった。  
健康クラブの定例会で、特殊詐欺・悪質商法を話題にした。還付金詐欺？らしき電話体験者の話をきいた。「巧みな話術や気をそそられる5万円程度の金額など、本当かも、と思うときがあった。」また、「貢献できると思って警察に通報したとき、警察官から深追いせずに早く電話を切るよう助言を受けた」とリアルな心情を聞かせて頂いた。  
7月：送付していただいた見守り新鮮情報を町内・自班で回覧した。
- 電話が鳴り、対応したら、「いらなくなった古着などありませんか。買い取りしています。」と話し、ないと断ってもあれこれ理由を並べ、買い取りに応ずるように誘導してきます。言葉も丁寧で、皆さん騙されると思いました。はっきり断ることができましたが、ドキドキしました。
- 市職員を語り、還付金があるといった詐欺事件が最近よく新聞に載っています。それも割と若い方が被害にあっているようです。今年はまだ地域へ出かけて活動できていませんが、秋に活動を予定しています。しかし、またコロナ感染者が増加してきており、どうなるかはわかりません。同じ内容でも年に一回は啓発活動が実施できるとよいのですが。
- 「初めまして、詐欺師です。特技は良い人のフリです。」4月14日(木)読売新聞のA-石川12版一面に、第17回ACジャパン広告学生賞グランプリ受賞作品が載っていました。とてもインパクトがあり頭から離れません。「私たちは時に警察になり、時に役場職員にもなります。私たちが絶対に騙せないという人はいません…。」続く文章が今の状況に的を射ています。どうしてこれだけのインパクトのある広告が目の触れるところに掲示されないのでしょうか？

- 石川県LINEや各市町のお知らせLINEで被害の事例やお知らせ、ホットライン188のことなど注意を呼び掛けている。一枚一枚紙で渡すよりも便利だと思うが、そもそもLINEを使ってない人や使っていても登録してなかったりする人が多い。ワクチンの情報やイベント情報とともに消費生活のことも発信してくれるのだから、ぜひ、まずは登録のキャンペーンをすればいいと思います。(QRコードを配るとか)

- ここ最近、白山市ではトラブルをよく聞きます。新聞に載るのは金額の大きい事件ですが、変な電話があったり、訪問してきたりと恐ろしくなるような出来事がありました。詐欺集団は、次はこの地区という具合に回っているのでしょう。

知り合いの家に夜10時にチャイムが鳴り、ドア越しにどちら様ですかと尋ねた所、「お宅から電話があったので来ました」と言い、名乗らなかったので、もう一度どちら様?と聞くと、聞いたことのない英語のような長ったらしい会社名を言ってきたそうです。怖くて玄関は開けなかったそうですが、こんな夜中に人が訪ねてくるなんておかしいし、また近くで被害があると思い、渡してあった「いぬわしくんシール」をみて警察に通報したそうです。後で聞いたところ、あわてて混乱してどこに電話するのかわからなかったそうですが、あ、そういえばシールもらったなと思い、電話したとのこと。役に立ってよかったです。以前、要望にシールを作ってほしいと書いたので、いぬわしくんシールができて本当に良かったと思います。

- 消費者被害撃退キャンペーンを市内の店頭で行ったが、沢山の方から「気をつけんなんね」「テレビで詐欺に合つとるがニュースで言うとるわ」等の声が聞けた。分かっているけど、その場での対応、高齢者への繰り返し周知の必要性が大ですね。

今年度はコロナ禍においても敬老会、生涯学習フェスティバルでの啓発活動の出前講座が予定されています。高齢者に周知する機会があることをうれしく思います。少人数の会員ではありますが、無理なく自分たちができる範囲の啓発活動をやっていきたいです。

夏休みに学童保育で金融教育をする予定でしたがコロナ感染増のため延期となりました。

- 民生児童委員協議会の資料に悪徳商法のチラシを入れた。民生児童委員協議会役員会でお知らせした。津幡町いきいきサロン連絡会(63カ所)ボランティア講師一覧に町消費生活相談の紹介を載せた。また、新規サロンへ直接紹介し、10月に勉強会を行う予定。

- ご送付パンフレットは、配布させていただいております。

- コロナ禍で家に居る時間が多くなり、電話勧誘されたことのある方が、電話の相手に「何もない!」と断ると「オレに探させてくれ!」と言われたという恐ろしいぞっとするような経験をしたそうです。一人で抱え込まず、友人、知人に話したり、「188」に相談できると話しました。啓発活動をきっかけに、体験談等を特別なことでなく話し合える環境になればと願います。

- コロナ禍で感染拡大があり、なかなか活動できませんが、若者から高齢の方々、すべての皆様が色々な被害にあわないようまた、少しずつ活動していきたいと思っています。
- 泉野小学校からサマースクール、シャルウィ盆踊りが3年ぶりに7月26日（火）、27日（水）、29日（金）に開催されました。納涼泉野おどり8月6日（土）にむけて子どもたちと頑張ります。
- 市内スーパーの出入り口で、消費者被害撃退キャンペーンとして注意喚起のチラシや啓発物品を配布しました。  
毎月実施している月例会では活動日程が決まり、金融教育や敬老会での寸劇などの出し物のメンバーそれぞれ手帳やスマホを広げながら、日程表を埋めていく作業が楽しい時間でした。時節柄、中止もあるかと思いながらも、全日程をこなせるよう健康に注意して、日々を過ごしていこうと思っています。
- 4月25日朝、女性の声で「エコスマイル」と名乗り家電にかかる。会社の所在地を尋ねると大阪と答え、更に大阪のどこかと尋ねると寝屋川とのこと。近くへ行くので、皿や着なくなった洋服を買い取るとのこと。今期、この手の電話は1件のみだった。
- 昨年度行った「SDGs」に関するミニ講演会が好評だったので、また別の婦人会から依頼があり、再び行った。
- 一人で居る時間帯は留守電にしておく。お断り言葉ははっきり言う。曖昧言葉を使わないことが大事。
- 悪質商法だと思いますが、「くつを高価に買い取ります」と電話があり、未使用のものもあったので返事をしたら、目的は貴金属であり、「ない」というと「ほかに何かあるはずだ」と言い、断ると恐ろしい言葉で返され、結局、くつはそのままでした。それから2回も電話があり、もちろん断りましたが、、友人たちもそういう電話があったと言っており、最近こういう商法が盛んなのではと心配です。
- 出前講座などで悪質商法の被害にあわないようにと、話や寸劇などを通して市民の皆さんにPR活動を行っているが、新聞やTV等で当市の市民の方が被害にあったというのを見て、残念に思う。そこで、講座の参加者には、「今日聞いた話は家に帰って家族の皆さんに教えてあげてください」とお願いしている。
- 市内でも毎日のようにコロナの感染者が発表されているので、公共施設での会合が難しく、延期や中止になっている状況です。今までのような啓発活動は無理なので、地元のお店に行ってチラシやグッズの配布をしました。お店の方には事前をお願いし、ひとりでも多くの方に丁寧に説明しています。

今後も市から新しい見守り情報を提供してもらい活動に役立てたいです。8月の2～3日はJAで、14日は珠洲まつりの会場で市担当者と啓発活動を行う予定です。

- 見守り新鮮情報を町内の回覧板で回してもらった。当市で還付金詐欺の被害者あり。民生委員としても、啓発活動に参加した。
- 町内のコミュニティカフェに65歳以上の方が集まるので、その場所で啓発活動を行いたいと思うが、コロナが気になり開けていない。憩いの会の代表者とも相談中です。  
民生委員としては市行政の方から、見守り情報を出してもらい配布しているので訪問時に民生委員さんが活動に役立っていると好評です。
- 先日、「近くの下水道工事のため、車を道路に駐車しています。あまり、迷惑にないと思いますが、念のためお知らせしています。ところでお宅の下水関係をついでにちょっと見ましようか」と実に流暢に、見るからにセールス風の男性が玄関先に来ました。あまりにすらすらと話すのでかえって不審に思い、お断りして帰ってもらいました。新卒のセールストークだと思いました。ご注意ください。
- 近所の家へ電話をしても「ただいまの話は録音します」等と各家庭に対策が取られていると感じることが多くなりました。用心している家が多くなってきていると感じます。  
婦人会の会合後、いただいた「多重債務に陥らないために」等のパンフレットを配り、少しですが話をさせてもらいました。マイライフいしかわも利用しました。
- 先日、スマホに「郵便ですが配達したけど留守でしたので荷物が届けられませんでした」とメッセージがありました。いつもなら不在カードが入っているのに不思議に思い知人の局員さんに電話をしたら詐欺とのこと。即、削除しました。そこから何に入っていくのだろうと考えたら怖くなりました。  
コロナ禍の中、「消費者トラブル予防カレンダー2022」を参考に分かりやすく伝えていくしか今は動けない状況ですが、地道に啓発していきたいと思っております。  
6月19日、能登地方を襲った地震、近所の一人暮らしのお宅に声掛けし、消費生活ではありませんが、違う意味での確認活動をしました。
- 最近の詐欺チラシをA3に拡大し、8種類を一冊に束ね、各地区の区長、または民生委員に回覧や掲示板に貼っていただきました。体験型施設（青少年）には、エステやタレント・モデル契約トラブルに関するチラシを配布し、掲示していただいています。
- 昔からの付き合い、風習などでお寺とは縁が深く、チラシ配布の後、墓じまい、離壇料にとっても関心があると言われました。お寺とのトラブルにならずにできる方法など、啓発活動に生かすことができればと思いました。

- エンディングノートのお話や後見人の話を含んだ内容を、高齢者に笑って聞いていただける活動をしたいです。
- with コロナの時代となり、町会活動も少しずつ動き始めている。久々に敬老会の集まりがあり、皆さん大勢集われていた。電話回線の話や不審に思った時の連絡先や電話口での対処方法をお話させていただいた。
- 7/30 (土) 鞍月フェスタのイベントで猛暑の中、屋外でのリフォーム詐欺寸劇は大変でしたが、日陰に立って聞いていた方が沢山いたようで、啓発につながったのではと思っています。